

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 717

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	今西 均
事業名	施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	八木公民館運営費			政策体系	131
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 2.公民		

## 1. 事業の概要

生涯学習推進事業、各種講座開講、各サークルに場所の提供

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

生涯にわたって、自ら学び、自己を高め、さらに学んだ成果を社会で活かす生涯学習社会を目指す。

### ②事業を実施する必要性

生涯学習社会を目指すためには、その核となる施設の充実が必要である。住民が主体的に学ぶためには、公民館の果たす役割は大きい。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	9,482	6,096	4,681	3,749	4,229	4,672	4,672
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	395	479	487	673	499	499
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,087	5,617	4,194	3,076	3,730	4,173
職員等の従事人員	人/年	—	—	1.71	0.71			
人件費	千円	—	—	4,516	2,902			
事業費総額	千円	—	—	9,197	6,650			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

需用費	2,553,078円
施設保守管理費	1,142,064円

## 5. 事業結果の概要

八木公民館	
利用件数（年間）	
・和室1・2	271件
・学習室1	70件
・学習室2	186件
・集会室1・2	226件
・集会室3	108件
・料理室	54件
・大集会室	143件

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 施設管理</b>		
南丹市八木公民館の管理 施設の貸出業務及び社会教育（体育）備品の貸出業務 維持管理のための経費の支出及び小修繕業務	通年	開設時期が古く（昭和53年8月）、経年劣化等による傷みがあるため、修繕箇所が少なくない。
<b>(2) サークル活動支援</b>		
南丹市八木公民館サークル連絡協議会 八木公民館を拠点として活動するサークル23団体を登録し、支援を行なった。	通年	サークルの発表機会である「文化祭」がサークルの協力により開催できた。今後、主催団体である八木町文化協会と綿密な連携のもと、更なる自主運営を行なう。
<b>(3) 公民館連絡協議会</b>		
●南丹船井公民館連絡協議会 ●京都府公民館連絡協議会 ●近畿公民館連絡協議会	通年	研修会、研究大会に参加し、公民館職員としての研修を行なった

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

<p>築30年経過で全ての設備の老朽化により常に協議を重ねた。          施設の設備面が一定出来たこと。          財政難のため、耐震診断が行われていない。市の避難所にも指定されているため、早急に改善すべき。</p>
--

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

<p>①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点          築30年経過で全ての設備の老朽化により常に協議を重ねた。          ②当該事業のアピール事項          施設の設備面が一定出来たこと。          ③反省点、今後の展開・方向性等          財政難のため、耐震診断が行われていない。市の避難所にも指定されているため、早急に改善すべき。</p>
--